

広報

しんじょう

1
2005

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.565

ISO14001

14年7月認証取得



まつり好きの有志が「年越し新庄まつり」を開催(12月31日/最上公園)

新年を迎えて……………2
 行革への「提言」……………4
 市職員給与等のあらまし……………6
 民生委員・児童委員……………8
 江戸だより/いきいき新庄人……………9
 しんじょう見聞録……………10
 1月のお知らせ……………12
 将来を見ずえた人づくり……………14



新庄市ホームページ
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>

新年を迎えて

新庄市長 高橋榮一郎

新年明けましておめでとうござ
います。

皆さまには清々しく新春をお迎
えのことと心からお喜び申し上げ
ます。また、日ごろより市政にご理
解とご協力を賜り厚くお礼申し上
げます。

昨年は、地震や台風が頻発し、
国内各地や県内でも多くの災害
が発生しました。中でも新潟県中
越地方で起きた地震では、死者・
行方不明者が多数発生し、各地で
交通機関やライフラインが寸断さ
れるなど大変な被害を受け、災害
に対する日ごろの備えの重要性を
痛感しました。

国内外においては、憂慮すべき
問題が多発しております。日本人
拉致問題やイラク問題、国内では
少子高齢化が一段と進行する中、

社会保障問題や「三位一体の改革」
の行方など、何とも先行き不透明
な状況にあります。中央では景気
回復の足音もありますが、地方に
はまだまだ波及していないのが現
状であり、自治体を取り巻く環境
もますますその厳しさを増してお
ります。

このような時にこそ、二十一世
紀の確固たる礎を築くためにも、
私の信条であります「いい人・いい
街・いくらし」の実現に向け新たな
決意を誓っているところであります。

さて昨年を振り返ってみます
と、財政状況については、歳入の
七割近くを占める市税と地方交
付税が大幅に減少し、歳出では公
債費などの増加により財政の硬直
化が一段と進行しています。この
ため、市民が真に必要とする施策

を効率よく展開できるように「小
さく・元気な市役所」を目指し、
そのための最優先課題として「財
政再建計画」を策定しました。

今年も、歳入規模に見合った財
政構造への転換を図り、どのよう
な社会経済情勢の中でも安定し
た市民サービスを将来にわたって
継続できるよう財政基盤の確立
を目指します。

また、これまで整備を進めてき

将来にわたり



▲山形新幹線新庄延伸5周年記念イベント(12月4日/新庄駅・ゆめりあ)



▲財政基盤の確立が急務

安定した市民福祉を

た社会資本をいかに効果的に活用していくのかということも重要な課題です。

平成十一年に山形新幹線が新庄まで延伸してから、早くも五年



が経過しました。延伸前の新庄駅の年間乗降客数は約八十二万人でしたが、延伸後は約二十五%増加して年間百五十万人前後で推移しています。この間、人や物、経済や文化の交流が活発に行われ、観光客も五年前と比較して約三十四万人も増加しました。その利便性とともに「全国都市緑化フェア」など全国規模のイベントの開催など、新庄延伸を契機とした波及効果が表れてきています。

今後とも、新幹線のターミナル駅としての有利性を最大限活用し、新庄市から全国へ情報を発信していきます。

昨年十一月、市民・福祉施設・企業が連携し、家庭ごみの約四割を占めるといわれる使用済みの食品トレイをリサイクルし再生する「新庄方式」と呼ばれる新しいシステムが開始しました。

使用済み食品トレイの回収・運搬と再生原料の製造を福祉施設が行うもので、企業と福祉が連携した全国初となる方式です。トレイの回収率を上げることで二酸化

炭素の排出量を大幅に削減でき、環境と雇用の両面から効果が期待されます。システムは始まったばかりですが、市民の皆さまのご理解とご協力により、資源の地域内循環を目指した、環境にやさしい循環型社会づくりを進めてまいります。

いよいよ今年「新庄まつり」が始まってから二百五十年の節目にあたります。例年より一日長い八月二十四日から二十七日までの四日間、趣向を凝らしたイベントを企画し、「新庄まつり二百五十年祭」を盛大に開催します。この記念すべきまつりを皆さまで大いに盛り上げていただき、新庄まつりの歴史に残るイベントにしたいと存じます。

最後に、本年も市民福祉の向上を最優先に鋭意努力いたす所存でありますので、ご指導ご協力のほどよろしくお願いたします。

皆さま方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。



▲いよいよ今年250年を迎える新庄まつり



▲回収率がカギとなる「新庄方式」の食品トレイリサイクル

行政改革市民委員会からの

「提言」

昨年十二月、行政改革市民委員会から市長に行政改革についての「提言」が提出されました。市は「市民とともに進める行革」に取り組んでおり、市長は、提言を十分に踏まえ、今後の行政改革を進めていくことを表明しました。

夢の持てる新庄市を創るために

市は、これまでの市民委員会からの提言に基づき、次のようなさまざまな取り組みを進めています。

- 行政評価システムの導入
- 財政状況などの積極的公表
- 施設管理運営の見直し
- 市民協働推進指針の策定

職員数を削減しスリムな市役所をつくることなど、行政運営安定化への努力は、市民の支持を得られているものと確信します。

私たち委員は「夢の持てる新庄市を創ること」をテーマに、改革実施状況の評価をもとに、四つの提言を出させていただきました。この四つの提言に共通すること

は、市と市民が役割を分担する新しいシステムが必要であるということです。私たちは改革のため、ともに汗を流すことを惜しみません。市と市民が手をたずさえまわちづくりが進むことを願い、提言します。

①市は財政危機に陥らなければ、将来に無責任な体質は変わらず、時代が求める改革への挑戦はもつと遅れていたのではないでしようか。その意味では、このピンチは市役所の体質を変えるまたとないチャンスです。この好機を逃さず改革に邁進してください。

②財政運営失敗の責任は市長はじめ組織全体にあり強く反省すべきですが、市のピンチはそこに住む住民のピンチでもあります。そういう危機意識を持ち、新庄のため自分にできることはないかと考

えている市民は多くいるものと思えます。しかし市民はどのように協力すればいいのか分からないのが実態です。市と市議会は、市民にお願いしなければならぬこと、そして、それによって得られる将来への展望を決意と責任を持つて明確に示してください。

③市は、財政再建や職員削減などの計画を策定していますが結果はこれからです。ぜひ、市長の強いリーダーシップのもとに職員全員が一丸の改革集団となって、少しでも早く結果を出してください。

④市民の代表である議員の方々、行政全般を大局的な視点から厳しく点検し、改革の実現に力を尽くしてください。

● 行政運営全般にわたり「計画↓実施↓評価↓見直し」の管理サイクルを確立すること

行政改革市民委員会委員

会長	石川 正志(塩野)	農業・神室産直連絡会代表
	奥山 春子(泉田)	前新庄市かもしかクラブ連合会会長
	佐々木代子(松本)	NPO子育てネットワーク「バルボンさん」副代表理事
	佐藤 太郎(松本)	新庄市区長協議会副会長
	鈴木 正敏(荒小屋)	元最上町立最上中学校校長
	高橋 欣也(小田島町)	最上地区PTA協議会会長
	藤島 憲夫(堀端町)	連合山形新庄・最上地域協議会議長
	豊後 富也(鉄砲町)	山形県総合政策審議会特別委員
	松澤 昭子(本合海)	本合海学区婦人会会長
	吉浦 一幸(北 町)	(株)新庄エレメックス管理部総務課長



▲市長に「提言」を提出(12月21日/市役所)

行政評価システムの必要性と課題

■外部評価の必要性

平成16年度、すべての事務事業(337件)について評価を実施しましたが、休廃止する事務事業は13にとどまり96%の事務事業は継続とされています。担当者による内部評価では、自分で予算要求した事業を必要性がないと答えることはできません。客観的な立場で評価した場合、同じ結果になるか疑問が残ります。内部評価に外部評価を加えた総合評価の方が信ぴょう性が高いと言わざるを得ません。公平・公正な外部評価が必要不可欠です。

■多様な参画で全方位型の評価システム

内部評価に外部評価を加えた総合評価とし、各種審議会に外部評価機能を持たせる、議会と市民の評価を連携させるなど、全方位型・相互通行型のシステムに発展させる必要があります。市民と行政のパートナーシップを念頭に市民の満足度や要望に基づいた評価とし、費用対効果が分かりやすい評価表とするべきです。市民の視点を積極的に取り入れ、透明性の高い行政運営を確立することを強く提言します。

民間委託の推進～民間活力の活用を目指して～

■民間活力の積極的活用

近年、民間の行政への参入意欲が高まり、送り手と受け手という従来の関係から、民間自らが公共サービスの送り手としての一翼を担う新しい関係が生まれつつあります。公共サービスの水準の確保を前提に、行政と民間の能力を見定め、適切に役割を分担すべきです。そのため、行政自らが行うものと民間活力を活用するものとのコスト・効果を把握し、業務に応じ民営化・委託・指定管理者制度など民間活力の活用を計画的に進めることが必要です。行政内部の管理業務についても可能な業務は積極的に委託するべきです。

■市民生活の向上につながるスリム化の推進

こうして行政をスリム化することにより、本当に必要なサービスを重点的に展開でき、同時に雇用が促進され、新しい事業が生まれます。そして、市民生活が向上し、夢の持てる新庄市を創り出すことが可能となります。行政と市民が一体となり公共サービスを展開し、将来にわたり活力あふれるまちづくりを進めていくことを提言します。

- 管理マネジメント各段階における市民の関わり方についてルー化する
- 長年継続されている育成奨励的な市補助金を廃止すること
- 公共施設の管理運営を見直し効率化を図ること
- 職員を削減しワークシェアリング

- グ(仕事を分かち合って雇用を増やす方法)の考え方で雇用拡大につなげる
- NPOなど市民の公益活動を積極的に支援・育成すること
- 議員定数を大幅に削減する方向で検討すること
- 市の財政悪化の大きな要因と

- なっている最上広域分担金を削減すること
- 職員の資質を向上し、意欲を持つて働ける環境づくりを進めること
- 区長のまちづくりへの関わり方を一層強める方向で検討すること
- 小規模校の統合を進め、学級・学交見取り直しを進めること

※「提言」の全文は市のホームページに掲載しています。また、総務課へ連絡いただければお届けします。

提言を受けて

市長 高橋榮一郎

このたび、市民委員会から行革に関する提言をいただきました。ふるさと「新庄」を夢の持てるまちにし、将来に引き継ぎたいという熱い思いが感じられ、市政を預かる身として心強く思います。

新庄市にとって財政再建が最大の課題ではありますが、提言のとおり、削るだけでなく重点化と効率化を進め、将来展望を明確な形で市民の皆さまにお示ししなければならぬと考えております。今、平成十七年度以降の行財政改革をどう進めていくかを検討しているところであり、提言を十分踏まえて取り組んでいきます。

委員の皆さまには献身的な活動を続けていただきまして、心より感謝いたします。

◎市の行財政改革について市民の皆さまのご意見をお待ちしています。詳しくは、総務課行政改革推進室へ。☎内線215
メール
soumu@city.shinjo.yamagata.jp

本市の職員給与等について、そのあらましをお知らせします。

市職員の給与は、国家公務員の給与を基本として、市議会の審議を経て市条例で定められています。

財政再建を進めるため、市独自の人件費削減対策として、市長など特別職の手当の減額、職員の管理職手当と期末勤勉手当の減額を行っています。また、市の職員定数は条例では428人ですが、定員適正化計画により16年度は393人(教育長含む)となり、15年度比で4人の減員となっています。

表8 一般行政職の級別職員数の状況(16年4月1日現在)

区 分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
標準的な職務内容	主事・主事補 技師・技師補		主 事 技 師		主 査 任 任		室 長 担当主査	課 長 主 幹
職員数(人)	3	13	28	36	14	49	60	31
構成比(%)	1.3	5.6	12.0	15.4	6.0	20.9	25.6	13.2
1年前の構成比(%)	1.3	5.2	14.7	14.3	3.9	25.1	22.1	13.4

●一般行政職の職員に適用される「給料表」は、経験年数や責任の度合いにより1～8級に区分されています。職務の区分と級別の職員数は表のとおりです。なお、一般行政職には、技能労務職・税務職・教育職・企業職(水道)・栄養士・保育士などの専門職は含まれません。

表9 職員数の推移

区 分	13年度	14年度	15年度	16年度
職員数	398人	403人	397人	393人
前年比	△3人	5人	△6人	△4人

表10 期末・勤勉手当の状況(16年度支給割合)

区 分	期末手当	勤勉手当	計
6月期	1.25月分	0.70月分	1.95月分
12月期	1.45月分	0.70月分	2.15月分
計	2.70月分	1.40月分	4.10月分

※期末手当は市独自削減後の支給割合

表11 時間外勤務手当の状況(一般会計決算)

15年度	支給総額	7,034万3千円
	職員1人当たり支給年額	18万4千円
14年度	支給総額	5,955万円
	職員1人当たり支給年額	15万6千円

●表10) 期末・勤勉手当 民間のボーナスにあたる期末・勤勉手当。16年度は、市独自の人件費削減措置として0.3月分を減額しています。(6月期・12月期それぞれの期末手当から0.15月分削減)

●表11) 時間外勤務手当 選挙事務従事者の時間外勤務手当も含まれています。

表12 特殊勤務手当の状況(15年度)

区 分	全職種	手 当 の 種 類
職員全体に占める手当支給職員の割合	0.5%	防疫作業手当、行旅病人・行旅死亡人の取扱手当、神室荘死亡人取扱手当、一人暮らしの死亡人取扱手当、特定毒物防除作業手当
支給対象職員1人当たり平均支給年額	3,000円	

●危険な業務や著しく難しい業務に従事する職員に支給される手当です。15年度から該当業務は18種類から6種類へ削減しました。

表13 退職手当の状況(16年11月1日現在)

区 分	支 給 率			最高限度額	その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2～20%加算)退職時特別昇給1号給
	勤続20年	勤続25年	勤続35年		
自己都合	21.0月分	33.75月分	47.5月分	59.28月分	
勸奨・定年	27.3月分	42.12月分	59.28月分	59.28月分	

●退職の理由や勤続年数に応じた退職手当の支給率などを表しています。国の職員と同じ支給率・加算措置になっています。15年度に退職した全職種に係る職員の平均支給額は1,988万円です。

表14 扶養手当・住居手当・通勤手当の状況(16年4月1日現在)

区分	扶 養 手 当	住居手当	通勤手当
市職員	配偶者	借家(限度額) 27,000円	交通機関利用(限度額) 55,000円
	一般の扶養親族は2人まで		
	配偶者がいない場合1人のみ	持家	交通用具利用(限度額)
	3人目以降の扶養親族	3,000円	44,900円
	特定扶養親族 1人につき5,000円加算		

※「特定扶養親族」とは、満16歳から満22歳までの扶養親族である子をいいます。

※「交通用具」とは、自動車・バイク・自転車などをいいます。

●扶養手当／扶養親族のある職員に扶養親族の区分・人数などにより支給されます。

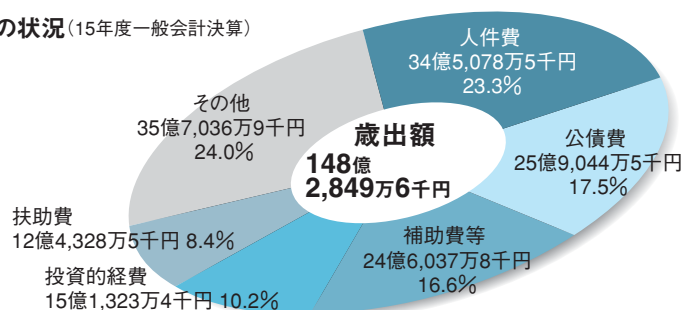
●住居手当／借家・借間、自己所有の住宅に居住している職員に支給されます。

●通勤手当／通勤距離が片道2km以上の職員に対して、交通費や距離に応じて支給されます。

市職員給与等のあらまし



表1 人件費の状況(15年度一般会計決算)



●表2) 人件費 人件費には特別職に支給される給料や報酬などが含まれています。

●表3) 給与費 職員手当には退職手当を含みません。15年度から管理職手当を減額しています。

表2 人件費の状況(15年度一般会計決算)

住民基本台帳人口(年度末)	41,285人
歳出額(A)	148億2,849万6千円
人件費(B)	34億5,078万5千円
人件費率(B/A)	23.3%
(参考)前年度人件費率	23.4%

表3 給与費の状況(16年度一般会計予算)

給料	16億3,378万8千円
職員手当	1億7,545万9千円
期末勤勉手当	5億9,786万5千円
合計	24億711万2千円
職員1人当たり給与費	641万9千円

●一般行政職と技能労務職の平均給料月額と平均年齢を県職員と比較しています。

表4 平均給料月額及び平均年齢の状況(16年4月1日現在)

区分	新 庄 市		県	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	361,000円	44歳9月	363,300円	42歳6月
技能労務職	356,900円	48歳0月	331,200円	41歳4月

●職種・学歴別に職員の初任給と採用2年経過後の給料月額を表しています。

表5 初任給の状況(16年4月1日現在)

区分		新 庄 市		国	
		初任給	採用2年経過日給料額	初任給	採用2年経過日給料額
一般行政職	大学卒	170,700円	184,400円	170,700円	184,400円
	高校卒	138,800円	148,500円	138,800円	148,500円
技能労務職	高校卒	134,400円	143,300円	136,000円	145,500円

●一定年数を経過した時点での給料月額などを職種・学歴・経験年数別に表しています。

表6 経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(16年4月1日現在)

区分		10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満
一般行政職	大学卒	289,800円	336,200円	395,800円
	高校卒	242,100円	295,800円	327,100円
技能労務職	高校卒	205,800円	270,300円	310,600円

●16年度は右表の期末手当から、市長77%、助役46%、収入役31%、市議会議員20%減額しています。

表7 特別職の報酬等の状況(16年度)

区分	給 料			報 酬		
	市 長	助 役	収入役	議 長	副議長	議 員
月 額	920,000円	700,000円	590,000円	448,000円	395,000円	370,000円
期末手当	6月期 月額×1.4×1.6月分、12月期 月額×1.4×1.7月分 計3.3月分					

子どもからお年寄りまで地域の相談役

新庄市第1区民生委員・児童委員協議会

担当地区	氏名	電話番号
土内、二枚橋、仁田山一・二	松坂 英昭	25-3229
萩野一～四	安食 勝行	25-2676
吉沢、黒沢	奥山 護	25-2840
泉田一区～五区	奥山仁兵衛	25-4014
桜通り東、桜通り西、往還、柏木原	金田とき江	25-2665
旭通り、泉田駅前	工藤 幸治	25-2776
横根山、赤坂	佐々木昌司	25-3460
昭和一～五、塩野	黒田 明子	25-2823
太田、荒小屋	笹原彌一郎	22-6138
高壇、北新町、北新町団地	矢口伊和子	23-1021
中川原、野中	山科 忠夫	22-6966
谷地小屋、上西山、滝ノ倉、冷水沢、泉ヶ丘	高桑 喜雄	22-5150
小月野、月岡、梅ヶ崎、一本柳、中山、小泉	亀井 弘一	22-4955
円満寺町	千川原茂見	09043167935
上茶屋町、中道町	高橋 幸子	23-4648
西町、茶屋町	柴崎 茂二	22-6997
三本橋、鍛冶町、明倫通り	庄司 光昭	22-4731
桧町一区・二区、小桧室団地	高橋 恵一	23-5678
主任児童委員	須藤 敏枝	25-2135
	大場 孝代	22-7190

新庄市第2区民生委員・児童委員協議会

担当地区	氏名	電話番号
水上町、石川町	津田イセ子	22-2216
川原町、土手の内	鎌田 恒夫	22-4436
上神明町、上万場町	吉田サヨ子	22-2431
東本町、東町、東天町	秋野 武正	22-8913
木栄町、中山町、吉川町	伊藤 善一	22-3876
常葉町一区～三区、横町	本澤 昌紀	22-1164
下神明町、桜馬場、下万場町	伊豆倉公子	22-6369
柳町、上北本町、下北本町	加藤香代子	22-3223
住吉町、吉袋	鎌田 吉夫	22-5231
上沖の町、下沖の町、駅構内、曙町	安達 久和	22-0862
若葉町中央、若葉町東	荒木チヨエ	23-4856
御長柄町、上名古屋敷・南紙漉町	小倉 康宏	22-6912
関屋、大福田、上山屋、下山屋	小野 恒	22-3763
末広町一区、南末広町	加藤 誠一	22-9444
末広町二区・三区	矢口 實	22-1785
日の出町	菅 義彦	22-3400
東山町	武田 文子	23-2616
三吉町、三吉新町	浅野 弘	22-9547
主任児童委員	今田 節子	22-7440
	菅藤 紀子	22-6207

新庄市第3区民生委員・児童委員協議会

担当地区	氏名	電話番号
下西山、あたご町	阿部富美子	22-1724
川西1区～3区	伊藤 義子	23-1004
川西4区～6区	本澤 醇子	23-0471
御堀端中・西・南、教育センター前	岩田シゲ子	22-1391
新田、飛田、上野、蛇塚、庚申	柏倉 満男	22-7442
岡崎町、下堀端北組・南組、御堀端東	柏倉 義武	22-6696
宮内一～三	栗田 松勇	22-3218
千門町1区・2区	佐藤 誠	22-9612
千門町3区・宮内新町	亀井 勝昭	23-4436
上堀端、上仲町	早坂 千恵	22-8605
仲町、下仲町、泉町	今川 いね	22-1214
大正町、上南本町、南町、本町、北紙漉町	布川 節朗	22-0443
東下名古屋敷、西下名古屋敷、春日町	濱田 智子	22-1342
馬喰町、清水川町、落合町	庄司 平八	22-1801
山片町、栄町	福井 栄子	22-6918
下鉄砲町、下田町	野尻 邦雄	23-0565
上鉄砲町、金沢七、幸町	近岡 静子	23-3922
金沢五・六	伊藤千恵子	22-7201
主任児童委員	花車 久子	22-3174
	城水 博子	22-6536

新庄市第4区民生委員・児童委員協議会

担当地区	氏名	電話番号
鳥越1区～8区、駒場	小田島和人	22-0646
二ツ屋、拓生、柏木山	黒坂 五郎	22-1908
角沢、大谷地、清水、芦沢	安達 文子	22-6706
仁間、福田	伊藤 喜一	22-1836
松本1区～3区	佐藤 暁	22-6636
本宮1区、松本団地	巻 エミ子	22-5245
本宮2区、野際町	三浦美栄子	23-3649
松枝	町田 宏	22-8878
金沢新町、金沢一	小林 静子	23-2264
玉の木町、玉の木新町	涌井あや子	22-0203
玉の木町、玉の木新町	今田 敏子	22-9870
金沢二～四	菅 富子	22-6614
新松本	齋藤喜代夫	23-0743
梨ノ木、休場、市野々	荒木 光子	22-2459
本合海五～八、畑	仙台 栄治	26-2438
本合海一～四	元木 榮一	26-2156
宮野、福宮、長坂	中塚 悟	26-2256
升形上一・上二・下一・下二	田宮 高弥	29-2371
升形三～五、前波	百瀬 佐一	29-2193
主任児童委員	菊地 治子	22-5011
	八畷 幸子	22-5089

民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域の相談役として市民を支えています。一人暮らしやねたきり老人のご相談、子どものことや家庭関係のことなど、何でもお気軽にご相談ください。

昨年十二月、民生委員・児童委員の委嘱状伝達式が市民プラザで行われました。今回、十九人の委員が交代し、総勢八十一人の方々に厚生労働大臣の委嘱状が市長より手渡されました。

民生委員・児童委員の任期は三年間。担当地区を受け持つ七十三人の委員と、児童委員活動を専門に行う八人の主任児童委員により構成されています。

主な活動内容は、地域住民からの相談を受け、友愛訪問を行い、生活支援などに取り組む地域福祉活動です。また、地域と関係行政機関、福祉施設・団体とのパイプ役としての活動もあります。

報酬はなく、地域福祉への奉仕的活動と位置づけられています。地域福祉活動の中心的担い手として、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。

◎詳しくは、福祉事務所生活支援室へ。

☎内線541



御家老の江戸だより

べてーさんでだれ?

◆新庄藩江戸家老 松田けんじさん
(作家・イラストレーター)

「ふるさとコンサート」を始めて早いもので十五年になります。「ふるさとコンサート」は一九九〇年に「唱歌の絵本(ふるさと)」の出版とほぼ同時に、歌手の須藤美衣子さんと倉山紬圭さんのデュオで、この絵本の中の歌を歌うという企画で始められました。以来各地で数多く開催してきました。もちろん新庄でもたびたび開催させていただきましたが、印象的だったのはやはり一九九〇年十二月八日の初演です。場所は市民プラザ小ホール。歌は須藤さんと倉山さん。ピアノ伴奏と司会が指揮者の高橋誠也君。新庄女性合唱団にも出演していただきました。舞台と客席が一つになった感動的なコンサートでした。アンコールは須藤さんの歌唱指導で「しもやけべてーの歌(曲・須藤/詞・けんじ)」が客席と出



演者で歌われ、大合唱のうちに温かい笑いに包まれフィナーレとなりました。

「しもやけべてーの歌」
しもやけべてーさん／ゆきだるまつぐつべ／かたゆきしんころりん／しみゆきしんころりん／今日も吹雪で日が暮れた／菜の花咲く日はまだ遠い／んだんだ(三番の歌詞のみ)

昭和二十年冬、ぼくは五歳のとき新庄へ疎開し、お城の中の家をTさんと分け合って住みました。Tさんには「のり子ちゃん」という目のくりくりした、赤いしもやけほつべの少女がいました。アメリカのコミックの「ベティー・ブーブ」に似ているので、「ベティーさん」としふるさとの裏表紙に描きました。以来、べてーさんは「原画展&コンサート」のポスターやワッペン、Tシャツなどになり、昨年の「人情ほんわか北本町商店街」活性化イベントのチラシに使っていただき、どら焼きのパッケージにもなったため、「べてーさんでだれ?」といわれることがあります。実在の「のり子ちゃん」はどこでどうしているのでしょうか。

いきいき 新庄人

納得のいく ベストの走りを

齊藤伴和さん(常葉町)

「優勝したときは、本当にうれしかった」と語る齊藤さんは、11月に米沢市で行われた第46回ベーター駅伝競走大会でアンカー(最終走者)として新庄・最上チームを初優勝に導きました。

「わたしは群馬県生まれです。新庄に来たのは市教育委員会から新庄・最上地域の陸上競技の強化を図りたいとの話があったことがきっかけです。まだ陸上を続けていたかったし、いくらかでも役に立てたらと思い、昨年4月から市体育館で働くことになりました」。中学生から陸上競技を始め、全国中学駅伝大会で3位に入賞したこともある齊藤さんは、大学時代の箱根駅伝が一番の思い出と語ります。

「普段は仕事が終わってから毎日15キロから20キロ走り、週2回、県縦断駅伝地区メンバーと合同練習をしています。また、小学校へ陸上の指導に行くこともあり、マラソン大会に招かれて子どもたちと走ったこともあります。大学時代と比べて練習量はかなり減りましたが、今は精神的に余裕があり、走ることを楽しめるようになりました。

わたしは、周りを気にせずマイペースでやっていく性格

なので、勝ち負けやタイムを気にせず、自分で納得のいく走りがしたいと常に思っています。それができた後の達成感・爽快感は何ものにも替えられません。

ベーター駅伝のときは、県縦断駅伝を走った人たちが各チームの地区代表として出場するので、春に納得のいく走りができなかった分がんばろうと思い、大会に臨みました。新庄・最上チームは、メンバーみんながそれぞれベストの走りができたから初優勝できたのだと思います。実際、走っているときは一人ですが、わたし自身アンカーとしてタスキとともに前を走ってきた4人の思いを受け継いで走ったので、その思いが最後まで前へ前へと進めてくれたのだと思います。今回走ったことで駅伝の楽しさを改めて実感することができました。

これからの目標は、自分で納得のいくベストの走りを続けていくことで、当面は、春の県縦断駅伝で良い成績を残すことです。毎日市内を走っているのでもし、わたしを見かけたら声をかけてください」と齊藤さんはスポーツマンらしく、さわやかに語ってくれました。



▲力強く抱負を語る齊藤さん

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲市民雪セミナー「スローフードを考える」(12月5日/雪の里情報館)



▲バイオマスエネルギーの実証実験(12月17日/エコロジーガーデン)



▲障害者週間記念事業「いっぽいっぽフェスタ」(12月17日/ゆめりあ)



▲市民フォーラム「生ごみは宝だ!」(12月11日/市民プラザ)



▲大手幼稚園・鳥越保育園園児たちが新潟県中越地震へ募金(12月21日)



▲年末みそか祭(12月28日~31日/産直まゆの郷)

地元の食文化を守ろう

「雪国食文化・スローフードを考える」をテーマに市民雪セミナーを開催しました。講師は、市食生活改善推進員協議会会長で雪国総合研究所研究員でもある伊藤妙子さん。「食文化は自然の中で生活し歴史と伝統を紡いだもの。米・野菜を使った和食こそが最も理想的な食事で、伝統的な食材・料理が食文化を向上させる」と地元食文化の伝承を提案。公演後には郷土料理の試食会も行われました。

バイオマスセミナー

バイオマスエネルギーの実験製造を進めている新庄バイオマスセンターの取り組みなどを紹介するバイオマスセミナーを開催しました。玉川大学教授・大友俊允氏がバイオマスの理論や世界各地での調査状況、新庄でのバイオマス研究の取り組みなどを解説。講演後、バイオマスエタノールを使った走行実験やイルミネーションの点灯実験も行われ、参加した高校生たちは目を輝かせ見入っていました。

生ごみは宝だ!

ごみの減量と有効活用を目指そうと市民フォーラムが開催されました。講演・事例発表・パネルディスカッションが行われ、市からも生ごみたい肥作りを報告。参加者からは「バイオマス資源が豊富な新庄・最上地域で良質なたい肥を生産し、地産地消を進め地域循環型農業へ結びつけていくことが必要」など活発な意見交換が行われました。

年末みそか祭

地産地消を目指し地元農産物を提供する産直まゆの郷で「年末みそか祭」が行われました。正月用のもちや新鮮野菜・花・新米・農産加工品などが勢ぞろいし、年末年始の準備を急ぐ多くの人でにぎわいました。



大盛況! 100円商店街

今年3回目となる「100円商店街」が南本町・北本町商店街とAMPの主催で開催されました。はがせる食品トレーを使ったアツアツの鍋は食べ終わった後にフィルムをはがすと抽選券が出る仕組み。おいさとアイデアで大好評でした。商店街の約80店舗や産直団体が出店し、結成したばかりの「ぷちAMP」の高校生も“初出店”した「100円商店街」は一段と好評を博しました。

栄光をたたえて

■平成16年中に叙勲等の栄に浴された方々
【自治功労関係】田澤保吉(沖の町)叙勲瑞宝双光賞(郵政事業功労)、齋藤義昭(萩野四)全国市議会議長会特別表彰、渡部平八(萩野四)全国市議会議長会特別表彰、中川正和(吉沢)全国市議会議長会表彰
【市民・福祉功労関係】元木啓雄(若葉町)日本消防協会会長表彰(功績章)、渡邊耕太郎(太田)日本消防協会会長特別表彰(功績章)、越後正幸(ニツ屋)日本消防協会会長特別表彰(功績章)、齋藤健一(月岡)消防庁長官表彰(功労章)・東北防犯協会連絡協議会会長・東北管区警察局長表彰、佐藤辰雄(上野)全国防犯協会連合会会長・警察庁長官表彰、八鍬美津子(宮内二)老人福祉功労者山形県知事感謝状、伊東淳一(北町)老人福祉功労者山形県知事感謝状、橋見まき子(梨ノ木)老人福祉功労者山形県知事感謝状、斉藤才吉(旭通り)老人福祉功労者山形県知事感謝状、松田まさ江(若葉町)老人福祉功労者山形県知事感謝状、鎌田ミヨ子(大手町)社会福祉事業功労者山形県知事表彰、小関一雄(小泉)全国地区衛連組織連合会会長表彰、亀井雅人(中山)山形県知事表彰(特別功労章・消防)、柿崎浩之(角沢)同、奥山一人(泉田二区)同
【産業・経済功労関係】小松正男(若葉町)公園緑地折下功労賞、あじさいを育てる会(会長・永井敏行)努力賞、花の心賞(花の観光地づくり大賞)、尾上正蔵(松本)農林水産大臣感謝状(農林水産統計情報業務協力者)、相馬清一(谷地小屋)同、矢口力男(升形三)卓越した技能者山形県知事表彰、黒田紀昭(若葉町)職業能力開発功労者山形県知事表彰
【教育・文化功労関係】図書館ボランティアかや



▲はがせる食品トレーを使った鍋も登場した「第3回100円商店街」(12月18日/南・北本町商店街)



▲新世紀を翔ける新春市民の集い(1月4日/市民プラザ)

のみ会(代表・須藤敏枝)文部科学大臣表彰(子どもの読書活動優秀実践団体)、高橋シン(下田町)山形県知事表彰(男女共同参画社会づくり功労者)、後藤實(松本2区)叙勲瑞宝双光章(教育功労)、八向中学校保護者と教職員の会(PTA会長・監物秀隆)優良PTA文部科学大臣表彰

■第74回全日本アマチュアボクシング選手権大会

ライト級/③高橋雄介(東京農大/新庄北高卒)

■牛乳・乳製品料理コンクール県大会最優秀賞

伊藤真理(新庄南高)

■第59回県展

【奨励賞】彫刻小川浩道(あたご町)
【入選】洋画/伊藤聡(仁間)星川學(中道町)飯澤正(城南町)大沼秀夫(本合海)今田實(上金沢町)日本画/福士ちのり(あたご町)近藤啓(本町)中鉢誠(石川町)林常松(木栄町)加藤美和(大手町)菅原薫(中道町)前田玲

子(石川町)高橋純一(上茶屋町)福澤千賀子(松本)太田瀬純雄(高壇)伊藤慶子(千門町)山科美恵子(城南町)彫刻/奥山洋(泉田)工芸/荒川智(北町)叶内章二(円満寺町)

■第46回こども県展

【子ども奨励賞】小松未冬(山屋小)
【入選】長坂夏希(昭和小)伊藤朱里(新庄小)

■第17回防火ポスターコンクール

【優秀賞】小国望海(沼田小)小松文哉(沼田小)小林駿(沼田小)**【入選】**門脇社(日新小)甲州将太(日新小)伊藤知世(日新小)小平俊樹(沼田小)高橋沙弥(沼田小)青木梨乃(昭和小)

■ライオンズ国際平和ポスターコンテスト

【最優秀賞】五十嵐飛鳥(日新小)
【優秀賞】京郷洋介(沼田小)小関陽子(沼田小)遅澤雄樹(沼田小)柿崎美咲(萩野中)
【学校賞】日新小、沼田小



ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

シネマ・アベージュ最新映画情報

○「ハウルの動く城」1月15日(出)から
9:00 11:30 14:00 16:30 19:00

◎シネマ・アベージュ ☎28-8884

募集

第4回市民スキー大会 (アルペン)

▼対象 小学生、中学生、高校・一般、シニアの部各男女
▼とき 2月11日(金)午前9時
30分開会 ▼参加費 小・中学生500円、高校生以上1,000円 ▼申し込み 参加費を添えて2月4日(金)まで

問 生涯スポーツ課 ☎22-0681

冬季運動教室 ストレッチ&ヨガ

▼とき 2月3日(木)、17日(木)いずれも午前10時～正午
▼ところ 市民プラザ2階和室
▼参加費 無料
▼定員 各25人

こどもふゆのつどい

○とき 2月5日(土)午前10時30分～正午
○ところ 市立図書館2階講座室
○内容 おはなしでこ～い、大型紙芝居、絵巻絵本、パネルシアター、折り紙教室など
○詳しくは、市立図書館へ。 ☎22-2189

山形県知事選挙でも 期日前投票ができます

投票日前でも直接投票箱に投票ができます。
○投票できる人 投票日に仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭の用事など、一定の事由がある人
○投票期間 1月7日(金)～22日(土)
○投票時間 午前8時30分～午後8時
○投票場所 市役所選挙管理委員会(東庁舎1階)
○詳しくは、選挙管理委員会事務局へ。
☎内線420・421

20歳になったら 国民年金

20歳の誕生日に社会保険事務所から国民年金資格取得届が送付されますので、忘れずに市役所へ提出してください。
○詳しくは、市民課国民年金担当へ。☎内線134

▼申し込み 1月31日(月)まで
問 健康課健康推進室
☎内線5133・5144・516

太極拳にチャレンジ 無料体験コース

▼とき 1月21日(金)～3月の毎週金曜日午前10時～正午(全8回) ▼ところ わくわく新庄 ▼内容 簡化太極拳24式
▼申し込み 1月20日(木)まで
問 新庄太極拳愛好会・天野
☎23-5445

糸紡ぎに挑戦

原毛から織物の糸・編物用の毛糸を作ります。
▼対象 成人(10人)
▼とき 2月5日(土)～3月19日(土)午後1時～4時(全5回)
▼ところ 市民プラザ
▼参加費 3,000円(材料代)

別途)

※事前に申し込みが必要です。

問 新庄ひびネットワーク・福井
☎23-1343

手織り・押し花を 楽しませんか

▼とき 2月12日から毎月第2土曜日午前9時30分～正午
▼内容 古着を利用し布を織り上げマット・バックなどを作る
▼参加費 1回1,000円(材料代別途)

押し花小物作り体験会

▼とき 2月19日(土)午前9時30分～正午
▼内容 ハガキ・コースターなど
▼材料代 1,000円
※いずれも▼ところ わくわく新庄 ▼申し込み 1月31日(月)まで
問 事務局・野口 ☎45-2223

取り壊した建物はありませんか

固定資産税の課税の基準日は1月1日です。16年中に建物を新築・増築・取り壊した方はご連絡ください。

償却資産の申告を忘れずに

事業用償却資産の所有者は、地方税法第383条の規定により、1月1日の所有状況を申告しなければなりません。
○申告書の提出期限 1月31日(月)
◎詳しくは、税務課課税室資産税担当へ。 ☎内線144

災害義援金へのお礼

新潟県中越地震への被災者に対し、市の窓口にて680,453円、日赤新庄市地区にて514,382円の災害義援金が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

17年度農業大学校 「特別研修課程」研修生

▼コース 新技術導入部門、新規就農部門(新規就農コース、直売加工コース) ▼研修期間 17年4月～18年3月(希望により調整) ▼ところ 先進農家、試験研究機関、農業大学校
▼受講料 無料
▼申込期限 第1次 2月18日(金)、第2次 3月上旬
問 県立農業大学校研修部
☎22-8794

お知らせ

17・18年度競争入札参加 資格申請の受付

17・18年度一般(指名)競争入札の参加資格審査申請を受け付けます。

小学校一日体験入学

▼期間 1月17日(月)～2月15日(火)(土・日曜日、祝日を除く)
▼ところ 市民相談室
※詳しくは、市のホームページをご覧ください。
問 財政課契約管財室
☎内線233・234

17年度保育所・神室荘 給食材料納入希望者の登録

▼受付期間 2月1日(火)～14日(月) ▼受付場所 福祉事務所
児童支援室 ▼提出書類 新規登録者 / ①登録参加申込書

問 教育委員会学校教育課
☎内線444



1月のお・知

相談 など

2月の市・県民税申告相談

- 会場 市民文化会館小ホール
- 受付時間 午前9時～午後3時
- 1日(火) 東山町、三吉町、三吉新町、末広町、南末広町、本宮町、拓生、大谷地
- 2日(水) 日の出町、野際町、玉の木町、玉の木新町、梨ノ木、仁間、福田
- 3日(木) 松枝、松本、新松本、幸町
- 4日(金) 鉄砲町、金沢新町、上金沢町、下金沢町、金沢1～7
- 7日(月) 鳥越、駒場、ニツ屋、稲崎、休場、市野々
- 8日(火) 柏木山、角沢、松本団地、清水、芦沢
- 9日(水) 泉田1～5、泉田駅前
- 10日(木) 二枚橋、仁田山1・2、往還、往還新町、横根山、横根山東
- 14日(月) 桜通り東・西、旭通り、柏木原、赤坂
- 15日(火) 萩野1～4、土内
- 16日(水) 吉沢、黒沢
- 17日(木) 昭和1～5、塩野、宮野、福宮、長坂
- 18日(金) 本合海1～8、畑
- 21日(月) 升形上1・2、升形下1・2、升形3～5、前波
- 22日(火) 下西山、谷地小屋、あたご町
- 23日(水) 大手町、小田島町、小検室団地、検町
- 24日(木) 関屋、大福田、城西町、城南町
- 25日(金) 中川原、野中、泉ヶ丘、若葉町、多門町
- 28日(月) 新田、飛田、庚申、蛇塚、上野、大町、下田町

◎申告期間中に市役所での申告相談はできません。3月の日程については、後日掲載します。詳しくは、税務課申告事務対策室へ。
☎内線142・143

最上川から揚水しません

～消流雪用水事業～

2カ年にわたり最上川からの試験通水を実施してきましたが、一定の成果が得られたことから、今年度は最上川からの揚水は行わないこととなりました。既存の流雪溝用ポンプは今までどおり稼働し、流雪溝に水を流します。

◎詳しくは、建設課道路整備・雪対策室へ。
☎内線521

介護保険の認定を受けている人で、前年までおむつ代の人で、

おむつ代の医療費控除 確認書の交付

介護保険の認定を受けている人で障害者に準ずる程度の方に、申請により介護認定資料の一部の内容に基づいた障害者控除対象者認定書を交付します。

障害者控除対象者 認定書の交付

税の障害者控除と おむつ代の医療費控除

②代表者身分証明書(写)、法人の場合は登記簿謄本③16年度納税証明書④印鑑証明書、現在登録者①登録参加申込書②16年度納税証明書
☎内線547

山形の家づくり 利子補給制度

▼対象 耐久性の高い住宅や県産木材を使用した住宅を建設購入する場合の住宅ローン
▼融資限度額 2千5百万円
▼利子補給率 0.5%(耐久)

山形の家づくり 利子補給制度

☎内線552・553

※いずれも、所得税や市・県民税の申告に使用できますが、昨年未までの医師の受診が必要です。
☎福祉事務所高齢障害支援室
☎内線552・553

休日・夜間年金相談

▼休日相談 1月22日(土)、2月19日(土)、3月12日(土)いずれも午前9時30分～午後4時
▼平日夜間相談 3月までの毎週月曜日(1月31日・2月28日を除く、祝日の場合は翌日)午後7時まで
▼ところ 新庄社会保険事務所
▼持ち物 年金手帳または身分を証明できるもの
☎新庄社会保険事務所
☎22-2050

平成17年度の健診

40歳以上の人には検診申込書を区長を通し配布しています。1月24日(月)まで区長または健康課に提出してください。40歳未満の人は、回覧文書をご覧ください。
○17年度検診対象 【40歳以上】基本健診、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、人間ドック【40歳以上の偶数年齢】乳がん検診【20歳以上の偶数年齢】子宮がん検診【50歳以上の偶数年齢】前立腺がん検診【17年度中に40・50・60・70歳になる人】歯周疾患検査
◎詳しくは、健康課健康推進室へ。
☎内線513～516

市営住宅入居者募集

団地名	募集戸数	家賃
玉の木団地	2	10,300～24,800円
野際団地	3	12,900～39,000円

○資格 次のすべてに該当する人①現在住宅に困っている人、②同居親族がいる人(婚約者可、50歳以上単身可)、③収入基準に合う人、④税金の未納がない人
○申し込み 1月24日(月)～31日(月)
○受付時間 午前8時30分～午後5時(1月28日・31日のみ午後7時まで)
◎優先入居により抽選がなくなる場合があります。詳しくは、都市開発課まちづくり推進室へ。☎内線533・534

健康講演会「アルコールと心の健康」

○とき 2月15日(火)午後1時30分～3時
○ところ 市民プラザ第5・6研修室

○講師 新庄明和病院院長・佐藤明氏
○定員 40人
○申し込み 2月10日(木)まで
◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線516

「将来を見すえた人づくり」

今回から、シリーズ教育パート7として、今後十年の教育を考えた「将来を見すえた人づくり」をテーマに連載していきます。今回は、「たくましい子ども」を育てるための学校教育の取り組みを紹介します。

特色ある学校づくり

市は、「命の尊厳を根底にすえた心の教育の充実」を重点として、徳・知・体のバランスのとれた「たくましい子ども」を育てることに力を注いでいます。そのため学校では、特色ある学校づくり・地域に開かれた学校づくりなど、各校で工夫した取り組みを進めています。

「学校のつばさ支援事業」を始めて三年。地域での体験学習、地域の人材を招いての学習、小中学校間の連携活動などが充実してきています。また、学校評議員制度も定着し、外部の方々からの意見をいただきながら学校教育活動の改善に努めています。

きめ細かな学習・生活指導

学習面では、基礎・基本の確実な定着をめざし、少人数指導や個人の理解に応じてきめ細かな指導を徹底するなど授業の改善を進めています。

今年度、四校の小中学校が国の「学力向上フロンティア校」の指定を受け、実践的な研究を進めてきました。また、子どもたちがゆとりの中で学習が進められるように、十七年度から全小中学校で二期制を導入します。試行している学校からは、長期休業が学期途中になったことで休業中にこれまでより課題意識を持った暮らしができるようになり、期間の短い三学期が解消され、じっくり指導できることが報告されています。

生活指導面では、学校に個別学習指導員を配置して学習・生活支援を行っています。また、教育相談などの充実を図りながら問題行動・不登校などの未然防止に努め、警察・医療・福祉とのネットワークにより、子どもたちの指導・支援にあたっています。

今日的な課題への取り組み

環境教育として、省エネ・省資源やリサイクルなど環境に優しい



▲きめ細かな授業(山屋小)

取り組みを推進し、小中学校における環境教育の充実を図っています。今年五月からは「学校版環境SO」を立ち上げ、環境教育を一層充実させる取り組みを予定しています。また、情報教育として、小中学校ではコンピュータが一人一台ずつ整備され、調べ学習やプレゼンテーションなどに有効に活用されています。

将来に向けた教育の方向性

現在、長期教育プランの策定を進めています。十七年四月から十年先を見通し、家庭教育・学校教育・生涯学習・生涯スポーツの教育指針を示すものです。二月に概要をお知らせし、さらに具体的内容についてはシリーズの中で紹介していきます。

(新庄市教育委員会)

地名伝説

山屋集落の安倍楯と山屋薬師

山屋集落についての地名の起源や開村の年代についてははっきりしないが、かなり古い時代にさかのぼるようである。

地区内に安倍楯と呼ばれる古い楯跡があり、ここには、前九年の役(平安末期、陸奥に起こった反乱)で活躍した安倍貞任・宗任の一族が住んでいたと伝えられている。彼らは、鳥越側の八幡楯に拠る朝廷軍(源頼義・義家父子ら)と戦い、その両軍が対陣したところが「陣ヶ峯」だともいう。

山屋薬師もかなり古い時代に創建されたようで、村人の伝えでは、大同元年(八〇六)、役行者が開山したという。戸沢氏が、新庄に入って間もない寛永七年(一六三〇)に薬師堂を建立(再建)したという記録や、同じく寛永十二年(一六三五)に、初代藩主政盛が山屋薬師に鷹の絵馬を奉納して領内の安全を祈願したという記録があるから、当時から靈験あらたかな神社であったものと思われる。

薬師堂には仁王像があり、こ

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『落花は枝に還らずとも』(上・下)

中村 彰彦 著

そのサムライを、ラフカディオ・ハーンは「神のような人」と評した。朝敵となった会津藩の滅亡に立会い、亡国の遺臣となった男は、逆風の時代をどう生きていったのか。“一度枝を離れた落花は、その枝に還って咲くことは二度とできない。しかし、来年咲く花の種になることはできる” (本文より)



● 今月のテーマ展示 ●

『義経』

「判官びいき」という言葉を生んだほどに日本人の心情にぴったりの武将「源義経」。今年の大河ドラマも「義経」です。今回、牛若丸と弁慶の話から、義経伝説などの郷土資料、義経記、壇ノ浦の合戦、奥州平泉藤原文化、など盛りだくさんの展示になりました。どうぞご覧ください。

新着図書

- ▲ かいけつゾロリたべられる!! 原 ゆたか
- ▲ しるいやみのはてで …… きむらゆういち
- ▲ ねずみの騎士デスペローの物語 …… ケイト・ディカミロ
- ▲ デイビットがやっちゃった! …… デイビッド・シャノン
- ▲ にせニセことわざずかん …… 荒井 良二
- ▲ 代筆屋 …… 辻 仁成
- ▲ P.S. アイラヴユー …… セシリア・アハーン
- ▲ 東京坊ちゃん …… 林 望
- ▲ ファティマの幸運 …… ジョン・ドリアンスキー
- ▲ 私の聖書物語 …… 阿刀田 高
- ▲ 日本人の一大事 …… 佐藤 愛子
- ▲ 誰にでも秘密がある …… キム・ヨンチャン
- ▲ 4時のおやつ …… 杉浦日向子
- ▲ アイムソーリー・ママ …… 桐野 夏生
- ▲ みみずくの日日好日 …… 五木 寛之
- ▲ 誰だってズルしたい …… 東海林さだお
- ▲ さまよう刃 …… 東野 圭吾
- ▲ クレイジーヘブン …… 垣根 涼介
- ▲ 背信 …… ロバート・B・パーカー
- ▲ 曠吉の恋 ―昭和人情馬鹿物語― …… 久世 光彦
- ▲ 切断都市 …… 芦辺 拓
- ▲ ぼくの不思議なダドリーおじさん …… バリー・ユアグロー
- ▲ タイドランド …… ミッチ・カリン
- ▲ 漱石先生大いに悩む …… 清水 義範
- ▲ 日帰りガイド山形の温泉 …… 無明舎出版
- ▲ 痛みのサイエンス …… 半場 道子

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜日、祝日、年末年始

クリスマスを楽しもう!

～升形・本合海小「たいけんスクール」～

八向中学校で「たいけんスクール」が開催され、地元の子どもたち三十七人が参加しました。「たいけんスクール」は、子どもたちの「居場所づくり」として中学校の学区単位に行われているもので、「地域の子どもは地域で育てる」ことを目標に、さまざまな取り組みが行われています。

今回の八向地区での「たいけんスクール」はこれまでの保護者ボランティアの主催ではなく、高校生ボランティアサークル「Z.E.A.L.(ジール)」が主催。Z.E.A.L.は八向地区でのイベントや小中学校の行事を手伝っており、今回は、企画・準備・運営すべてを担当。

参加者みんなでゲームや昼食づくりを楽しみました。参加した小学生は「他の学校の人と交流できて楽しかった」とうれしそう。

Z.E.A.L.代表の松田知美さん(高校三年生)は、「子どもたちもわたしたちも楽しめるような企画を考えました。最初なじめなかった子どもたちも帰るころには仲良くなっていたので、成果を感じることができました。

わたしたちは、地域の中で縦のつながりを持つことを目標に活動してきましたが、今回はこれまで最も目標に近い形で開催できました。少子化の時代にいるような世代が集まってみんな



▲地域の小・中・高校生が交流(12月18日)

で遊ぶことは、子どもたちにもわたしたちにとっても貴重な体験になりました」と地域での世代間交流について話します。地域に根ざしたボランティアサークル活動は、子どもたちを育んでいます。

の仁王様の股をくぐると抱擁にかからないというので、子どもが四、五歳になるとくぐらせるという風習があったが、昭和三十八年の火災ですべて焼失してしまつた。

山屋集落の中には、かつて、「中宿」「稲場」(古い時代、稲干し場であった)というなどと呼ばれたところもあり、前述した榎や山屋薬師などのことから推察して、もしかしたら、有力豪族を中心とする榎下集落としてできたか、あるいは、神室山信仰との関わりでできた集落かとも推察できるがいかがであらうか。

(市史編さん室)

まつりを支える人々

～新庄まつり250年祭シリーズ～



二五〇年祭山若が主役の図

「チャレンコ ヤッサー」
「ホーホー！」

おにぎりを風呂敷に包み
五十円のご祝儀がうれしく
上金沢の牛乳屋さんの
ピン牛乳がおいしかった
サーカスが楽しみだった
幼いときの思い出はつきない

最上地区各所で山車祭りがある
学校の学習にも生きている

小若の囃子競演会
学校や地域の小若が大熱演

園児の手づくり山車パレード
さるカニ合戦や桃太郎

大好きなアニメのキャラクター
不思議な調和のミニ山車

園児のニコニコした笑顔
見守る家族や沿道の人・人

小若の笑顔とかげ声と
小若の元気が祭りをつくる

山車の花形やっぱり小若
(絵と文＝加藤良哉)



食品トレーリサイクルの呼びかけ(12月23日)

12月号の正解は「②55年」でした。広報12月号を読んだ感想から紹介します。「広報の“この一年を振り返って”を読み今年もいろいろなことがあったと改めて感じました。新潟では地震で大変でしたが、新庄の1年を振り返ると山形新幹線新庄延伸5周年などいろいろな行事があり、実りの多い1年であったと思います。また、最近では、食品トレーのリサイクルについてとても良いことだと感じています。新庄市がますます住みやすい市になればうれしいですね」1月号では、5人に図書券をプレゼントします。

表紙の真

250年祭を盛り上げよう

～新庄まつり
カウントダウンライブ～

大みそかの夜から元旦にかけて最上公園・天満宮前広場で開催された「年越し新庄まつり」。地元有志が今年の新庄まつり250年祭への気運を盛り上げようと企画・運営。まつり囃子演奏、まつり映像の上映、ミニ山車の展示など、初詣でにぎわう境内をまつりムードで盛り上げました。



かむてん クイズ



さて問題です。250年を迎える今年の新庄まつりは何日間の開催予定でしょう。①3日間、②4日間、③5日間／はがき・ファクス・eメールに「①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙を読んだ感想など」を書いて、〒996-8501新庄市企画調整課市民協働広報室あて、1月28日まで応募してください。ファクス 22-0989/eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

11 月末現在の新庄人

41,329人 (41,511人)

女	21,513人 (21,614人)
男	19,816人 (19,897人)
世帯数	13,509世帯 (13,419世帯)

11月の異動

出生	37人 (28人)
死亡	20人 (28人)
転入	92人 (77人)
転出	111人 (67人)

※()は1年前の住民基本台帳



再生紙100%と環境にやさしい大豆油インキを使用しています